

【研究に関する情報】

研究課題名	小児急性リンパ性白血病の治療に伴う L-アスパラギナーゼ関連膵炎の発症予測因子についての検討
研究責任者	<所属(診療科等)> 長野県立こども病院血液腫瘍科 <職名・氏名> 医監 小森一寿
研究期間	2023 年 3 月 1 日 (倫理委員会承認日) ~ 2026 年 2 月 28 日
研究の目的	<p>L-アスパラギナーゼは、白血病に対しての重要な薬剤です。頻度は少ないですが、L-アスパラギナーゼによって膵炎を起こしてしまう患者さんがいます。膵炎を起こしてしまった患者さんは、L-アスパラギナーゼを使用することができなくなり、白血病に対しての治療の効果が乏しくなって、白血病が治りづらくなってしまいます。</p> <p>L-アスパラギナーゼによって膵炎を起こしてしまった患者さんと膵炎を起こさなかった患者さんを比べることで、膵炎が起こることを予測することができれば、膵炎を起こしてしまう患者さんを減らすことができ、白血病の治療成績の向上につながります。</p> <p>そこで、この研究ではL-アスパラギナーゼによる膵炎の発症の予測因子を検討することを目的としています。</p>
研究の方法	<p><対象となる患者さん></p> <p>B 前駆細胞性急性リンパ性白血病と診断された患者さんで、2013 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日の間に日本小児白血病リンパ腫研究グループの ALL-B12 プロトコールで治療を受けた方。</p> <p><利用する試料および情報></p> <p>この研究では、診療のために採取した既存の試料（血液検体）や情報（診療情報）のみを利用します。</p> <p><利用する者の範囲></p> <p>既存の試料（血液検体）や情報（診療情報）は、長野県立こども病院血液腫瘍科及び臨床検査科で利用します。</p>

問い合わせ先	<p>この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。上記の研究に試料（血液検体）または情報（診療情報）を利用することをご了解いただけない場合は、下記へご連絡ください。</p> <p>なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料（血液検体）や情報（診療情報）を特定の個人を識別することができないように加工している場合は、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。</p> <p><研究責任者></p> <p>長野県立こども病院 血液腫瘍科 医監 小森一寿 〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100 電話：0263-73-6700(代) 臨床研究支援室 ファックス：(0263) 73-5432</p>
---------------	--